

北海道国際輸送プラットホームの 平成 26 年度の取組について

北海道開発局 港湾空港部

北海道開発局、北海道及び札幌大学が事務局を担う「北海道国際輸送プラットホーム推進協議会」（以下、協議会）では、北海道経済産業局、フード特区機構等の公益団体、ヤマト運輸、北海道テレビ（HTB）及び北洋銀行などの民間企業も参加して、道産品の輸出拡大に向けた「北海道国際輸送プラットホーム（略称 HOP）」構築事業を進めています。

平成 26 年 3 月 26 日には第 3 回北海道国際輸送プラットホーム推進協議会が開催され、平成 25 年度の取組の総括と平成 26 年度の方針について議論が交わされました。

平成 25 年度の HOP1 サービス（冷凍冷蔵の小口航空機輸送サービス）の輸送実績は 324 箱となり前年比 3 倍増となりました。しかし、当初はサンプル輸送（海外飲食店とのマッチング事業）を軸に貨物量の拡大を図る計画でしたが、現地ニーズと道内事業者が輸出したい商品に乖離がある等の各種課題もあり、当初目標としていた輸送個数には届きませんでした。サンプル輸送については今後仕組みを変え、現地での試食商談会を実施することでより密度の濃い商談になるよう進めていく予定です。

また、平成 25 年度には新たに外国人観光客をターゲットとした「海外おみやげ宅配便」の取扱いを開始しました。これは HOP1 サービスを活用した外国人観光客向けの冷蔵冷凍品宅配サービスであり、北海道各地で食べた新鮮な食材を自国に送ることが可能となります。



写真：平成 25 年度第 3 回 HOP 推進協議会の様子

これまで外国人観光客がおみやげとして購入する食品はお菓子等が中心であり、温度管理の必要な生鮮品は持ち帰ることが非常に困難でしたが、この「海外おみやげ宅配便」の利用により外国人観光客がおみやげとして購入する商品の種類は大幅に広がり、道内の店舗側としてはさらなる売上増が期待できます。

「海外おみやげ宅配便」は観光振興とも一体となった取組であり、今後貨物量の拡大が期待できることから、平成 26 度は海外おみやげ宅配便の導入店舗の拡大や外国人観光客への PR に注力していくこととしています。

さらに、海外への情報発信手法の検討を目的とした、ネットショッピングによる販売実験を香港・シンガポールで実施しました。

情報発信の手法としては、TVCM、Facebook 等の SNS、リスティング広告（グーグルやヤフーなどの検索結果で「検索したキーワード」と連動して表示される広告のこと）の 3 通りの方法により宣伝を行いました。

輸送品のみ（冷蔵冷凍品）		
5kg 以内	●送料：送料—7,000円 ●送料：送料—11,000円	●送料：送料—9,000円 ●送料：送料—14,000円
5kg 以上	●送料：送料—11,000円	●送料：送料—17,000円
10kg 以内	●送料：送料—10,800円 ●送料：送料—18,360円	●送料：送料—10,800円 ●送料：送料—23,860円
10kg 以上	●送料：送料—10,800円 ●送料：送料—24,260円	

HOP事務局 [ヤマト運輸(株)北海道支社内] TEL:011-856-0543 FAX:011-294-5769

海外おみやげ宅配便チラシ

既存の取組内容

新規に輸出を検討する事業者対象

サンプル輸送 (対象国：香港・シンガポール)

・北海道産品の海外における評価や販路拡大を図るため、香港・シンガポールの飲食店経営者へサンプル品を輸送。注文があれば、商談の取次ぎを行う。また、商品に対するアンケートを実施。

海外へ食品を輸送する事業者対象

HOP1 サービス (対象国：香港・台湾・シンガポール)

・北海道産品を段ボール 1 箱サイズから海外へ輸出できる、恒常的な国際小口冷凍・冷蔵貨物の航空輸送サービス。

外国人観光客におみやげ品を販売する事業者対象

海外おみやげ宅配便 (対象国：香港・台湾・シンガポール)

・HOP1 サービスを活用した、外国人観光客向けの冷凍・冷蔵のおみやげ品宅配輸送サービス。

海外における北海道産品ブランド形成

北海道テレビ放送 (HTB) との連携

・シンガポールのケーブル TV 「Hello! JAPAN」チャンネル内で、HTB 制作による道産品の紹介番組を H26.2 に放映。

海上小口冷蔵・冷凍サービスの実現

海上冷凍・冷蔵混載輸送実験

・海上小口混載冷蔵・冷凍サービス (HOP2 サービス) の実現に向けた輸送実験を行い、各種課題について検討。

平成 26 年度の新たな取組

H26/ 夏頃 現地試食商談会の実施

・現地レストランに飲食店オーナー等を招聘し、北海道産品を実際に調理して試食いただく試食商談会の実施を計画。

H26/ 夏頃 展開国拡大 (マレーシア)

・新たな展開国としてマレーシア向けに HOP1 サービスを開始予定

H26/6 頃 EC サイトの運用開始

・海外おみやげ宅配便のリピーター客を掴むため、専用の EC サイトを運用開始予定。今後観光と連携したサイトへの展開を計画。

H26 年度中 TV 番組との連携による情報発信

・昨年度実施したテレビショッピングの結果を基に北海道産品ブランド形成に向けた取組を計画。

H26/ 秋頃 HOP2 サービス開始予定

・海上小口混載冷蔵・冷凍サービス (HOP2 サービス) の実現に向けた輸送実験を行い、今年度サービス開始を予定。

HOP の取組内容について

た。このうちサイトに最も多くの人数を誘導できた宣伝方法は SNS であり、海外での SNS 普及率の高さを再認識する結果となりました。

しかし、ネットショッピングによる商品の売上数自体は少なかったことから、購入に至らなかった原因を調査した結果、「実際に商品を見てから購入したい」という回答が多く寄せられました。

そこで今年度はサイトの改良を行い、海外おみやげ宅配便の購入者が自国に戻った後、リピーターとして再度商品購入できるサイトとして運用していく予定となっています。

このほか、平成 26 年度には HOP1 サービスの新た

な展開国としてマレーシアを予定している他、商品の中にはコスト面で航空輸送に馴染まないものもあることから、海上 LCL 輸送サービス (HOP2 サービス) も台湾向けに開始する予定です。この HOP2 サービスの開始により農産品等のより多くの北海道産品の輸出拡大が期待されます。

また、北海道テレビ放送 (HTB) とも連携した北海道ブランドの情報発信も引き続き行っていきます。

協議会では今後も北海道経済の発展に資することができるよう北海道国際輸送プラットフォーム構築事業を迅速かつ機動的に進めていきますので、皆さまのますますのご協力をよろしくお願いいたします。